

# 報告事項① 各部会・委員会、青年部・女性会活動報告について

(令和6年11月1日～令和6年12月31日)

部会名	開催日時	開催場所	出席者	開催内容
食 品 商 業	11月8日(金) 18:00	渋川製菓・レストラン御幸	村上照幸・鳴海信宏・石黒和彦・渋川陽介・工藤倫生・對馬大樹・宇野純子・事務局 〈9名〉	<p>【交流会】</p> <p>会員相互のネットワーク構築と今後の食品開発のきっかけづくり、部会活動への参画意識の向上のための交流会を昨年に引き続き開催するにあたり正副部会長が声掛けをし、7名の参加があった。</p> <p>渋川製菓の工場を特別に見学させていただき、伝統的な手法長年愛される商品を生み出している製造方法を学んだ。</p> <p>懇親会では、レストラン御幸店主より煎餅に合うディップソースを提供していただき、お酒に合う食べ方を知ることができた。さらに各部会員から、当日持ち寄った商品の魅力について説明していただいた。懇談の中で、看板商品誕生の歴史と受賞までの経緯、最近の採用方法や人材育成について部会員同士の情報交換があり、参加した部会員から日頃から会社の強みを言葉にして話すことの重要性に気付いたとの感想があったことから、よりよい商品づくりの一助になったと考えられる。</p>
	12月13日(金) 14:00	会頭室	鳴海信宏・村上照幸・對馬大樹・事務局 〈5名〉	<p>【正副部会長会議】</p> <p>案件(1) 令和7年度事業計画(案)について</p> <p>※黒石市と交流連携協定を締結した東京都中野区と食での交流をしたい。東京商工会議所中野支部を訪問し、当所会員の物産を販売する機会を設け、販路開拓を進める一歩としたい。将来的には中野区で、黒石市の物産の販売事業やどこでも物産展開催の可能性を探る。</p> <p>案件(2) その他</p>
生活文化商業	11月13日(木) 18:00	ｽﾎﾟｶﾙｲﾝ 黒石「アリーナ」	〈34名〉	<p>【ラージボール教室】</p> <p>黒石市で行っている「くろいし健康マイレージ」事業は、健康診断や各種がん検診の受診、市の健康づくり事業への参加などでポイントを貯めることにより、黒石商店街(協)発行の商品券抽選に応募することができる。</p> <p>平成29年から継続している「第14回ラージボール教室」を開催することにより、市民の健康に対する意識向上及び地元から買い物をしていただく機会を増やすように取り組んでいる。</p>
工 業	開催なし			
建 設	開催なし			

観光・交通・サービス	開催なし			
理財・情報産業	12月24日(火) 10:30	会頭室	花田守正・高嶋良樹・木村尚政・飯田大貴・中村匡洋・北山正之・高橋経子・山田広己・・委任状行使者23明・事務局 〈計33名〉	【令和6年度第3回部会】 案件(1)副部会長の選任について ※副部会長欠員に伴い、新たに渋川悟氏(東奥信用金庫黒石支店)を選任した。 案件(1)2号議員の選任について ※次年度の改選期まで、2号議員の欠員を補充しないことに決定した。
厚生・福祉	開催なし			

委員会名	開催日時	開催場所	出席者	開催内容
総務	開催なし			
産経	開催なし			
労働	開催なし			
税務	開催なし			
金融	開催なし			
観光	11月25日(月) 11:00	会頭室	福士拓弥・石澤照代・山田広巳・事務局 〈計5名〉	【令和6年度第3回委員会】 案件(1)津軽くろいし みんなの雪だるま2025について
広報特別	開催なし			

	開催日時	開催場所	出席者	開催内容
黒石商工会議所 青年部	11月2日(土) 13:30	八戸グランドホテル	高橋晃司・村上慈人・渡辺浩司 〈計3名〉	【青森県商工会議所青年部連合会 第17回青森県連合大会八戸大会】 1. 記念事業(YEG異業種交流会ゲスト) 2. 記念講演「Web3.0時代に中小企業経営者が知っておくこと」 講師：上瀧良平 氏 3. 記念式典 4. 懇親会
	11月6日(水) 19:00	会頭室	高橋晃司・村上慈人・渡辺浩司・増川博基・相馬大・高橋聡・長内康之・加藤さおり・棟方清崇・湯瀬高央・齊藤工・事務局 〈計12名〉	【令和6年度第8回役員会】 案件(1)令和6年度第1回臨時総会・10月定例会について 案件(2)YEGの日事業について 案件(3)令和6年度12月定例会(クリスマス家族例会)について 案件(4)その他について ※すべて満場一致で可決

黒石商工会議所 青年部	11月16日(土) 19:00	黒石市内 飲食店 (5店舗)	高橋晃司・村上慈人・渡 辺浩司・相馬大・高橋 聡・松村定世・長内康 之・加藤さおり・棟方清 崇・湯瀬高央・齊藤工・ 対馬孝男・福士長年輪・ オブザーバー2名・事務 局  〈計16名〉	<p>【黒石YEGはしご酒スタンプラリー事業】</p> <p>全国の商工会議所青年部では、11月にYEGブランドを積極的に外部へ発信し存在感をアピールするための日として「YEGの日事業」を行っている。</p> <p>黒石YEGでは黒石市内の飲食店界隈の魅力を再発見してもらい、地域経済の活性化に繋げる目的で「黒石YEGはしご酒スタンプラリー」と題して、黒石市内飲食店をメインに、はしご酒を実施した。参加人数は少なかったものの、アンケートの結果をまとめると満足度が高いことが確認され、目的が達成できたと考察する。しかし、運営面では飲食店の選定や準備等に時間を要することから事業拡大を図るのであれば全体事業として取り組んだ方がよいと感じた。</p> <p>参加した会員、会場を盛り上げてくださったオブザーバーの方とともに、楽しく有意義な時間を共有でき、またYEGの活動を知っていただく良い機会となった。</p>
	12月4日(水) 19:00	会頭室	高橋晃司・渡辺浩司・相馬大・高橋聡・長内康之・加藤さおり・棟方清崇・齊藤工・事務局 〈計9名〉	<p>【令和6年度第9回役員会】</p> <p>案件(1)YEGの日事業について 案件(2)令和6年度12月定例会(クリスマス家族例会)について 案件(3)次年度方針について 案件(4)新入会員について 案件(5)その他について ※すべて満場一致で可決</p>
	12月6日(金) 17:00	弘前パーク ホテル	村上慈人・渡辺浩司・松井元博・対馬孝男・八木橋雄介 〈計5名〉	<p>【A7i協議会創立30周年記念大会】</p> <p>1. 記念式典 2. 記念祝賀会</p>
	12月7日(土) 14:30	黒石市産業 会館・ 黒石市役所 わのまち センター・ 富士見館	高橋晃司・村上慈人・渡辺浩司・瓜田健太郎・棟方清崇・齊藤工・村上照幸・加藤さおり・対馬孝男・山谷晃・事務局 〈計11名〉	<p>【青森県商工会議所青年部連合会 第4回役員会】</p> <p>1. 第4回執行部会 2. 第4回委員会 3. 第4回役員会 ※すべて満場一致で可決</p>
	12月14日(土) 17:00	白露	高橋晃司・村上慈人・増川博基・渡辺浩司・相馬大・高橋聡・長内康之・加藤さおり・湯瀬高央・齊藤工・村上照幸・対馬孝男・村上晋・江利山圭佑・高橋有稀乃・シニア倶楽部会員(佐藤佳仁・大溝雅昭・三上修平) 家族参加者 20名 〈計38名〉	<p>【令和6年度12月定例会クリスマス家族例会】</p> <p>青年部のメンバー同士だけでなく家族同士の親睦を深め、普段の青年部活動に対して家族の理解を頂き、家族への感謝の想いを伝えるという意味を込めて行われた。</p> <p>豪華景品をかけて行われたカラオケやゲームなどが行われ、会場はメンバーだけでなく、家族や子供達の笑顔に包まれ、温かく楽しい時間を過ごした。委員会で掲げた「子供同士や家族間の交流、子供達に楽しんでもらう」目的は達成できた。</p>

黒石商工会議所 女性会	開催日時	開催場所	出席者	開催内容
	11月7日(木) ～8日(金)	滋賀県立 芸術劇場 びわ湖 ホール	大溝千秋・端田裕花・松 村久美子・高橋幸江・鳴 海理香・寺口紀子・事務 局  〈計7名〉	【第56回全国商工会議所女性会 連合会滋賀全国大会】 全国約300女性会から約2,500名の 女性会会員が集結し、当女性会から は6名が参加した。1日目は懇親会と 琵琶湖の湖上花火を楽しんだ。2日目 の全国大会では、女性起業家大賞授 賞式・全国商工会議所女性会表彰等 が行われた。その後、大本山 石山寺 座主 鷲尾龍華 氏による「石山寺と 紫式部『源氏物語』」をテーマとし た記念講演会が行われた。2日間を通 して会場で開催された物産展では、 滋賀ならではの商品が並び、終日大 盛況であった。
	11月12日(火) 19:00	会頭室	大溝千秋・端田裕花・渋 川麗子・野呂英子・桑田 広子・工藤由美子・岩崎 聡子・高木まり子・石黒 きよの・事務局 〈計10名〉	【令和6年度第7回役員会】 案件(1)全国商工会議所女性会連合 会滋賀全国大会の報告につ いて ※参加した会員より報告。 案件(2)2025年新春会員大会の開催 について ※1月14日(火)夜、会場は蔵よし を第一希望として検討するこ とに決定。 案件(3)黒石りんごまつりについて ※準備物・役割分担等について 協議。
	11月16日(土) ～17日(日)	ｽﾎﾟｶﾙｲﾝ 黒石	16日(土) 大溝千秋・端 田裕花・高橋幸江・野呂 英子・斎藤甲・石黒きよ の・寺口紀子・井手裕 子・事務局 〈計9名〉  17日(日) 大溝千秋・端 田裕花・李若冰・高橋幸 江・野呂英子・斎藤甲・ 桑田広子・佐藤知香・石 黒きよの・寺口紀子・岩 崎聡子・事務局 〈計12名〉	【第33回黒石りんごまつり】 ホットコーヒー・りんごジュ ース・魔法のハーブティーの販売とバ ザーを行った。両日とも会員の協力 により、トラブルもなく盛況に終わ ることができた。

黒石商工会議所 女性会	12月10日(火) 19:00	会頭室	大溝千秋・端田裕花・李若冰・渋川麗子・野呂英子・高木まり子・石黒きよの・事務局 〈計8名〉	<p>【令和6年度第8回役員会】</p> <p>案件(1)黒石りんごまつりの報告について</p> <p>※収益の取り扱いについて協議。</p> <p>案件(2)公開教養講座「フラワーアレンジメント講習会」について</p> <p>※申込状況の報告及び、役割・段取り等について協議。</p> <p>案件(3)親会2025年新春会員大会について</p> <p>※会からの参加費補助について協議。</p> <p>案件(4)2025年新春会員大会について</p> <p>※1月14日(火)午後6時から蔵よしにて開催。内容・予算等について協議。</p> <p>案件(5)第3回定例会(手話講座)について</p> <p>※2月に会頭室で行うことに決定。内容・講師謝礼等について協議</p>
	12月27日(金) 14:00	わのまち センター 1階 多目的広場	講師2名・会員6名・一般市民6名・事務局 〈計15名〉	<p>【公開教養講座「お正月花 フラワーアレンジメント講習会」】</p> <p>平成25年から毎年開催し、今回で12回目の開催となった。今回は未来の可能性や希望が広がっていくイメージが込められた扇を広げたデザインとなった。扇形にアレンジした松の中に華やかな花々で柄をつけるように、彩り良く美しくアレンジした。参加者は皆、新年を祝うのにふさわしい豪華な出来上がり到大変満足していた。</p>

## 「パートナーシップ構築宣言」のひな形（2024 年 11 月版）

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

### 1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。

（個別項目）

※下記から積極的に取り組む項目を特定し、項目毎に取組内容を具体的に記載してください。

- a. 企業間の連携（オープンイノベーション、M&A 等の事業承継支援 等）
- b. IT 実装支援（共通 EDI の構築、データの相互利用、IT 人材の育成支援、サイバーセキュリティ対策の助言・支援 等）
- c. 専門人材マッチング
- d. グリーン化の取組（脱・低炭素化技術の共同開発、省エネ診断に係る助言・支援、生産工程等の脱・低炭素化、グリーン調達 等）
- e. 健康経営に関する取組（健康経営に係るノウハウの提供、健康増進施策の共同実施 等）

### 2. 「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

※「下請取引以外の企業間取引についても、取引上の立場に優劣がある企業間での取引の適正化を図るという下記項目の趣旨に留意する」場合には、その旨記載ください。

#### ①価格決定方法

不合理な原価低減要請を行いません。取引対価の決定に当たっては、下請事業者と少なくとも年に1回以上の協議を行うとともに、下請事業者の適正な利益を含み、下請事業者における労働条件の改善が可能となるよう、十分に協議して決定します。その際、「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」に掲げられた行動を適切にとった上で決定します。また、原材料費やエネルギーコストの高騰があった場合には、適切なコスト増加分の全額転嫁を目指します。なお、取引対価の決定を含め契約に当たっては、契約条件の書面等による明示・交付を行います。

※「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」に基づく自社の取組方針をパートナーシップ構築宣言に盛り込む場合は、①に追記してください。また、独自に文書等を作成されている場合は別紙として添付してください。具体的な記載方法については、記載要領及びF A Qをご確認ください。



## ②型管理などのコスト負担

「型取引の適正化推進協議会報告書」に掲げられている「型取引の基本的な考え方・基本原則について」や、「型の取扱いに関する覚書」を踏まえて型取引を行い、不要な型の廃棄を促進するとともに、下請事業者に対して型の無償保管要請を行いません。

※型とは、金属、プラスチック、ゴム、ガラス等を素材（原料）とする製品の成形加工に用いられる金型、樹脂型、木型等の型又は治具のことです。

※型を活用した取引を行っていない場合には、この項目を除外してください。

## ③手形などの支払条件

下請代金は可能な限り現金で支払います。手形等で支払う場合には、割引料等を下請事業者の負担とせず、また、支払サイトを60日以内とします。

※手形等には一括決済方式又は電子記録債権を含みます。

## ④知的財産・ノウハウ

「知的財産取引に関するガイドライン」に掲げられている「基本的な考え方」や、「契約書ひな形」を踏まえて取引を行い、片務的な秘密保持契約の締結、取引上の立場を利用したノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。

## ⑤働き方改革等に伴うしわ寄せ

取引先も働き方改革に対応できるよう、下請事業者に対して、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、下請事業者に取引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

## 3. その他（任意記載）

（例）取引先満足度調査の実施、事業活動を通じて得られた利益やコストダウン等の成果配分を取引先との間で“50/50（フィフティ・フィフティ）”とする、「ホワイト物流」に関する「自主行動宣言」を表明済み 等

（注）「ホワイト物流」について記載する場合は、「ホワイト物流」に関する「自主行動宣言」を表明し、「ホワイト物流」推進運動のホームページに掲載されている必要があります。

（例）約束手形の利用の廃止に向けて、大企業間取引も含め、現金払いや電子記録債権への移行に取り組めます。

〇年〇月〇日

---

企 業 名

---

役職・氏名（代表権を有する者）

（備考）

- ・本宣言は、（公財）全国中小企業振興機関協会が運営するポータルサイトに掲載されます。
- ・主務大臣から「振興基準」に基づき指導又は助言が行われた場合など、本宣言が履行されていないと認められる場合には、本宣言の掲載が取りやめになることがあります。

# パートナーシップ構築宣言とは

## パートナーシップ構築宣言とは

事業者が、**サプライチェーン全体の付加価値向上、大企業と中小企業の共存共栄**を目指し、「発注者」側の立場から、「**代表権のある者の名前**」で宣言するものです。

パートナーシップ構築宣言では、下記の（１）（２）を宣言します。

- （１） サプライチェーン全体の共存共栄と**新たな連携**
  - オープンイノベーション
  - IT実装
  - グリーン化 等
- （２） **下請企業との望ましい取引慣行**（「振興基準」）の遵守  
特に、**取引適正化の重点5課題**について宣言します。
  - ① 価格決定方法
  - ② 型管理などのコスト負担
  - ③ 手形などの支払条件
  - ④ 知的財産・ノウハウ
  - ⑤ 働き方改革等に伴うしわ寄せ

## 宣言のイメージ







パートナーシップ構築宣言

## 公表要領



パートナーシップ構築宣言

## 案内チラシ

### パートナーシップ構築宣言取組事例集

2023年4月「令和5年度 パートナーシップ構築宣言取組事例集 Ver1.1」を公開しました。

2023年7月、中小企業の取組事例を1事例追加し、「令和5年度パートナーシップ構築宣言取組事例集 Ver1.2」を公開しました。

2024年7月、「令和6年度パートナーシップ構築宣言取組事例集」を公開しました。

グリーン化や人材マッチングなど新たな連携に積極的に取り組む事例や、宣言したことを契機に、下請事業者との適正な取引を含めて、経営者や調達担当者の意識が高まった事例など、他の宣言企業やこれから宣言を行う企業にとって参考になると考えられる事例について、取組の概要や背景などのポイントをまとめています。

宣言いただいている企業、これから宣言される企業の皆様が、取引先と連携した取組を発展させていただく上で参考になる部分もあるかと思しますので、ぜひご一読ください。

令和5年度  
パートナーシップ構築宣言  
取組事例集

# パートナーシップ構築宣言 取組事例集 Ver1.2

～大企業と中小企業が共に成長できる持続可能な関係を構築するために！～



令和5年7月

令和6年度  
パートナーシップ構築宣言  
取組事例集

# 令和6年度 パートナーシップ構築宣言 取組事例集

～大企業と中小企業が共に成長できる持続可能な関係を構築するために！～



令和6年7月



2023年1月13日付、日本経済団体連合会、日本商工会議所、経済同友会は連名で、要請『「パートナーシップ構築宣言」の実効性向上に向けて』を取りまとめ、会員事業者等に周知しました。

- 日本経済団体連合会 <https://www.keidanren.or.jp/announce/2023/0113.html>
- 日本商工会議所 <https://www.jcci.or.jp/news/2023/0113150000.html>
- 経済同友会 [https://www.doyukai.or.jp/policyproposals/articles/2022/230112\\_1551.html](https://www.doyukai.or.jp/policyproposals/articles/2022/230112_1551.html)

また、2024年1月17日付、日本経済団体連合会、日本商工会議所、経済同友会は連名で、会員企業、特にサプライチェーン上位に位置する大企業、中堅企業に対して、「パートナーシップ構築宣言」の趣旨の徹底と実行を強力に進めるとともに、未宣言企業に対して宣言への参画を呼びかけることを含む要請「構造的な賃上げによる経済好循環の実現」を取りまとめました。

- 日本経済団体連合会 <https://www.keidanren.or.jp/announce/2024/0117.html>
- 日本商工会議所 <https://www.jcci.or.jp/news/2024/0117152300.html>
- 経済同友会 <https://www.doyukai.or.jp/policyproposals/articles/2023/240117.html>

Copyright © biz-partnership. All rights reserved.